

# NEWSLETTER Vol.5



- 市内の小中学校施設は、建設から30年以上を経たものが全体のほぼ9割を占め、その中でも古い校舎は建て替えの時期が近付いている状況にあります。
- 本市では、未来を担う子どもたちが、心豊かでたくましく自立した人間として育つよう、これからの学校施設のあり方について「各務原市学校建替基本方針策定委員会」を設立し、調査・審議を進めています。
- ここでは、今後も委員会の会議内容を紹介していきます。

## 1. 第5回各務原市学校建替基本方針策定委員会を開催しました。

令和5年4月28日（金）午後1時30分から第5回各務原市学校建替基本方針策定委員会（以下、委員会といいます。）を各務原市産業文化センターで開催しました。

## 2. プール施設と学校給食調理場について議論しました。

### ■プール施設について

現状と課題を踏まえ、これからの学校建替におけるプール施設の方向性について議論しました。学校建替え時を見据えた市内小中学校のプール施設のあり方の検討が求められています。



那加中学校プール施設

### ■学校給食調理場について

現状と課題を踏まえ、これからの学校施設における学校給食調理場の方向性について議論しました。給食の安全性を確保するため HACCP<sup>(※)</sup>の考え方を取り入れた学校給食衛生管理基準に適合する施設が求められています。



学校給食センター

(※)HACCP：危害要因（ハザード）を把握した上で、原材料の入荷から最終製品の出荷までの全工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法

### ■アンケート結果について（報告）

3月に実施した市民・保護者アンケートでは、児童・生徒の個人を尊重した空間づくりに対して多くの回答を得ました。

## 3. 第5回委員会が出された主な意見を紹介します。

### ■プール施設について

- ・コストや教員の負担を考えると、特別な施設を少なくしマンパワーを違う内容に充当していくことが重要。
- ・水泳指導は引き続き維持しながらも、プールを各学校に整備するのではなく、集約化を図り周辺の学校プールを共同利用する方法や他施設のプールを利用することなども考えていく必要があると思う。

### ■学校給食調理場について

- ・単独調理方式の学校では、子どもが調理員と交流でき食育に関する学びを得やすい。一方でセンター方式であればアレルギー対応食材を購入しやすく、効率的にアレルギーへの対応が可能になると思う。
- ・食育のコミュニケーションは重要だと感じた。子どもの視点も委員会資料に追記してほしい。
- ・今後整備される調理場は今までのイメージとは異なる。最新の給食センターの情報も整理をした方が良いと思う。
- ・給食センターへ集約するのであれば、単独校方式の良さも取り込めるように検討を進める必要がある。

### ■アンケート結果について

- ・学年単位での学習等の場、個別学習や少人数学習に対応できる多目的室や収納スペースに対する要望が多い。
- ・空間や予算の制約の中で、何を優先すべきかの判断のヒントになる。

※委員会の日程は、市のホームページに掲載します。2か月に1回の開催予定です。

【お問合せ先】各務原市役所 教育委員会事務局学校施設課 施設整備係

TEL：058-383-1814（直通）FAX：058-389-0218

E-mail：gakkoshisetsu@city.kakamigahara.gifu.jp